

年頭のご挨拶



下川町議会議長 近藤 八郎

謹 賀 新 年

議長 近藤八郎
副議長 宮澤清士郎

◎総務産業常任委員会
委員長 萩谷春之
副委員長 斎藤好信
委員 富澤清士
奈須憲一郎
大西功
◎名寄地区衛生施設事務組合議会議員
近藤八郎
春日隆司
近藤八郎
斎藤好信
大西功

◎議会選出監査委員
宮澤清士
近藤八郎
斎藤好信
大西功

◎議員会
会長 萩谷春之
副会長 近藤八郎

本構想を策定する重大な年になるものと存じます。

また、懸案であります再生可能エネルギー導入促進につきましても具体化を視野に検討する年にもなると考えられます。

また、本年4月からは、教育・保育を一體的に行う施設として、認定こども園「こどものもり」が子育て、子育ちの拠点施設として装いも新たにスタートされます。

こうした中にあって、「誰ひとり取り残されず、しなやかに強く、幸せに暮らせる持続可能な町づくり」を目指す本町にとりまして、本年の最大の課題は、「第6期下川町総合計画基本構想」の見直しであります。現基本構想は、その目標を平成30年とし、町政の長期的なビジョンと理念を定めるために平成23年に策定されたものです。

2030年へ向けて本町のあるべき姿、すなわち、持続可能な開発目標は、如何にあるべきか。

地域課題解決の道標となる都市計画マスター プラン策定と併せ新しい町づくりの基

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

町政運営につきましては、日頃からご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、町政を取り巻く経済、社会の環境、特に少子高齢化、国際化、情報化、更には担い手不足への対応など、町民生活の安定のために行政における課題は山積しているところであります。

こうした中にあって、「誰ひとり取り残されず、しなやかに強く、幸せに暮らせる持続可能な町づくり」を目指す本町にとりまして、本年の最大の課題は、「第6期下川町総合計画基本構想」の見直しであります。現基本構想は、その目標を平成30年とし、町政の長期的なビジョンと理念を定めるために平成23年に策定されたものです。

2030年へ向けて本町のあるべき姿、すなわち、持続可能な開発目標は、如何にあるべきか。

地域課題解決の道標となる都市計画マスター プラン策定と併せ新しい町づくりの基

議会といたしましては、引き続き議会の活性化を図り、これまでの事務事業の見直しや検証を行うなど、行財政改革の一層の推進を図つてまいりますとともに、議会の果たすべき役割と責任を自覚し、町民の皆様のご期待に添うよう決意を新たにしているところであります。

昨年の漢字一文字は「災」でした。亥年の本年は「災」転じて「福」となるよう町民の皆様のご多幸をお祈りするとともに、本年も変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げまして、新年のごあいさつといったします。

タープラン策定と併せ新しい町づくりの基